

1. 製品及び会社情報

製品名: GT-OIL, GT-OIL(hard)
会社名: (株) グロータック
住所: 東京都品川区南大井6-5-11
電話番号: 03-6436-8621
FAX番号: 03-6436-8622

2. 危険有害性の要約

最重要危険有害性: 可燃性の液体。
有害性: ・現在のところ有用な情報なし。
環境影響: ・現在のところ有用な情報なし。
物理的及び化学的危険性: ・可燃性があるので火気に注意する。
特定の危険有害性:
主要な徴候: ・現在のところ有用な情報なし。
分類の名称 ・分類の基準に該当しない。
(分類基準は日本式):
想定される非常事態の概要: ・現在のところ有用な情報なし。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別: 混合物
化学名文は一般名: 石油系炭化水素及び添加剤
成分及び含有量: 潤滑油基油97質量%以上
潤滑油添加剤3質量%以下
化学特性(化学式): 特定できない。
危険有害成分:
化学物質管理促進法: 非該当
労働安全衛生法: 第57条の2 通知対象物政令番号第168号 鉱油90-100質量%
第57条の2 通知対象物政令番号第262号
2,6-ジターシャリーフチル-4-クレゾール0.1-1.0質量%
毒物劇物取締法: 対象物ではない。

4. 応急措置

吸入した場合:
・新鮮な空気のある場所に移す。体を毛布等でおおい、保温して安静を保ち、直ちに医師の手当てを受ける。
皮膚に付着した場合:
・水と石鹼で付着した部分を洗う。
目に入った場合:
・清浄な水で最低15分間目を洗浄した後、医師の手当てを受ける。
飲み込んだ場合:
・無理に吐かせないで、速やかに医師の手当てを受ける。
・口の中が汚染されている場合には、水で十分洗う。
最も重要な徴候及び症状に関する簡潔な情報:
1. 飲み込むと、下痢、嘔吐する可能性がある。
2. 目に入ると炎症を起こす可能性がある。
3. 皮膚に触れると炎症を起こす可能性がある。
4. ミストを吸入すると気分が悪くなることがある。
応急措置をする者の保護:
・現在のところ有用な情報なし。
医師に対する特別注意事項:
・現在のところ有用な情報なし。

5. 火災時の措置

消火剤:
・霧状の強化液、泡、粉末又は炭酸ガス消火剤が有効である。
・初期の火災には、粉末、炭酸ガス消火剤を用いる。
・大規模火災の際には、泡消火剤を用いて空気を遮断することが有効である。
使ってはならない消火剤:
・棒状の水を用いてはならない。火災を拡大し危険な場合がある。
特有の消火方法:
・火元への燃焼源を断つ。
・周囲の設備等に散水して冷却する。
・火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。
消火を行う者の保護:
・消火作業の際は、風上から行き必ず保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置:
・作業の際には、必ず保護具を着用する。
環境に対する注意事項:
・河川・下水道等に排出されないよう注意する。
・海上の場合、薬剤を用いる場合には国土交通省令・環境省令で定める技術上の基準に適合したものでなければならない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材:

- ・少量の場合は、土砂、ウエス等に吸収させ回収し、その後を完全にウエス等で拭き取る。
- ・大量の場合は、漏油した場所の周辺にはロープを張るなどして、人の立ち入りを禁止する。漏洩した液は土砂等でその流れを止め、安全な場所に導いた後、出来るだけ空容器等に回収する。
- ・海上の場合、オイルフェンスを展開して拡散を防止し、吸収マットなどで吸い取る。薬剤を用いる場合には国土交通省令・環境省令で定める技術上の基準に適合したものでなければならない。

二次災害の防止策:

- ・漏洩時は事故の未然防止及び拡大防止を図る目的で、速やかに関係機関に通報する。
- ・周辺の着火源を取り除く。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策:

- ・指定数量以上の量を取扱う場合には、法で定められた基準に満足する製造所、貯蔵所、取扱所で行う。
- ・炎、火花又は高温体との接触を避けるとともに、みだりに蒸気を発散させないこと。
- ・静電気対策を行い、作業衣、靴等も導電性の物を用いる。
- ・危険物が残存している機械設備などを修理、又は加工する場合は、安全な場所において危険物を完全に除去してから行う。
- ・容器から取り出す時はポンプなどを使用すること。細管を用いて口で吸い上げてはならない。飲まない。
- ・皮膚に触れたり、目に入る可能性がある場合は、保護具を着用する。
- ・ミストが発生する場合は、呼吸器具等を使用してミストを吸入しない。
- ・容器は必ず密閉する。

局所排気・全体換気: 現在のところ有用な情報なし。

注意事項:

- ・石油製品から発生した蒸気は空気より重いので滞留しやすい。そのため換気及び火気などへの注意が必要である。

安全取扱注意事項:

- ・常温で取り扱うものとし、その際、水分、きょう雑物の混入に注意する。
- ・ハロゲン類、強酸類、アルカリ類、酸化性物質との接触並びに同一場所での保管を避ける。

保管

安全な保管条件:

- ・直射日光を避け、換気の良い場所に保管する。
- ・ゴミ、水分などの混入防止のため使用後は密栓して保管する。
- ・危険物の表示をして保管する。
- ・熱、スパーク、火炎並びに静電気蓄積を避ける。
- ・保管場所で使用する電気器具は防爆構造とし、器具類は接地する。

安全な容器包装材料:

- ・空容器に圧力をかけない。圧力をかけると破裂することがある。
- ・容器は、溶接、加熱、穴あけ又は切断しない。爆発を伴って残留物が発火することがある。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策:

- ・ミストが発生する場合は発生源の密閉化、又は排気装置を設ける。
- ・取扱い場所の近くに、目の洗浄及び身体洗浄の為の設備を設置する。

管理濃度管理濃度:

規定なし(作業環境評価基準(平成21年度厚生労働省告示第194/195号))

許容濃度許容濃度:

日本産業衛生学会(2010年度版)

時間荷重平均 TWA 3mg/m³(oil mist)

ACGIH(2010年度版)

時間荷重平均 TWA 5mg/m³(oil mist)

保護具

呼吸器の保護具:

- ・通常必要でないが、必要に応じて防毒マスク(有機ガス用)を着用する。

手の保護具:

- ・長期間又は繰り返し接触する場合には耐油性のものを着用する。

目の保護具:

- ・飛沫が飛ぶ場合には普通型眼鏡を着用する。

皮膚及び身体の保護具:

- ・長期間にわたり取扱う場合又は濡れる場合には耐油性の長袖作業着等を着用する。

適切な衛生対策:

- ・濡れた衣服は脱ぎ、完全に洗浄してから再使用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态

形状: 液体

色: 黄色

臭い: 臭気あり

物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲

凝固点: データなし(流動点: -15C以下)

分解温度: データなし
引火点: 200°C以上 (COC)
発火点: データなし
爆発特性
爆発限界 下限: 1容量% (推定値) 上限: 7容量% (推定値)
蒸気密度: データなし
密度: 0.87-0.89 g/cm³ (15°C)
溶解性
水に対する溶解性: 不溶
オクタノール/水分配係数: データなし
その他のデータ
揮発性: なし
初留点: 250°C以上
流動点: -15以下

10. 安定性及び反応性

安定性: 通常の条件では安定。
反応性: 強酸化剤との接触を避ける。
避けるべき条件: ハロゲン類、強酸類、アルカリ類、酸化性物質との接触しないよう注意する。
避けるべき材料: 現在のところ有用な情報なし。
危険有害な分解生成物: 現在のところ有用な情報なし。
その他: 現在のところ有用な情報なし。

11. 有害性情報

急性毒性: 経口ラットLD₅₀ 5g/kg以上 (推定値)
局所効果: 長期間又は繰り返し皮膚、目に接触した場合は刺激性の恐れがある
皮膚腐食性はない
感受性: 現在のところ有用な情報なし
慢性毒性・長期毒性:
発がん性: ・基油:
OSHAによる評価: 「使用している基油は高度精製基油であり、IARCでは、グループ3に分類(ヒトに対して発がん性について分類できない)」
EUによる評価: 発がん性物質としての分類は適用される必要はない。
・添加剤:
現在のところ有用な情報なし。
変異原性: 現在のところ有用な情報なし。
催奇形性: 現在のところ有用な情報なし。
生殖毒性: 現在のところ有用な情報なし。
その他: ・飲み込むと下痢、嘔吐する可能性がある。
・目に入ると炎症を起こす可能性がある。
・皮膚に触れると炎症を起こす可能性がある。
・ミストを吸入すると気分が悪くなることがある。
・水と反応して有害なガスを発生する等の情報は現在のところ有用な情報なし。

12. 環境影響情報

ここでは高度精製基油について記載する。
水生環境毒性: ・水にはほとんど溶解しないため、水生生物への汚損を生じる。
魚類急性毒性: ・魚類 (ファットヘッドミノー 96時間) LL50 100mg/L以上 (3)
魚類最大無影響量: ・魚類 (ファットヘッドミノー 14日間) NOEL 100mg/L以上 (3)
甲殻類遊泳阻害: ・甲殻類 (オオミジンコ 48時間) EL50/NOEL 10,000mg/L以上 (3)
甲殻類最大無影響量: ・甲殻類 (オオミジンコ 21日間) NOEL 10mg/L以上 (3)
藻類最大無影響量: ・藻類 (セレストルム) NOEL 100mg/L以上 (3)
微生物発光阻害: ・微生物の発光試験 (4日間) による発光阻害は確認されなかった (3)。
(本製品は難水溶性のため、上記試験においては調製されたWAF (水適応性画分) を試料として使用している。)
水生環境急性有害性: ・上記試験結果から水生環境急性有害性なしと判断する。
水生環境慢性有害性: ・上記試験結果から水生環境慢性有害性なしと判断する。
移動性: ・一般的には水に対して浮く性質がある。
類似基油のlog KOCは3以上と推測され、地表で漏出した油は土壌に吸着されることにより地下水へ流出することは考えにくい。
残留性・分解性: ・生分解試験結果は31% (28日間) であることから、本質的生分解性を有するが、易生分解性ではないと判断する。
生体蓄積性: ・高度精製基油としては有用な情報がない。
その他: ・上記情報は部分的な情報及び類似物質によるものである。高度精製基油に対して完全な情報が取得されているわけではない。
移動性: 現在のところ有用な情報なし
残留性/分解性: 現在のところ有用な情報なし
生体蓄積性: 現在のところ有用な情報なし
生態毒性: 現在のところ有用な情報なし
魚毒性: 現在のところ有用な情報なし
その他: 現在のところ有用な情報なし

14. 輸送上の注意

国内規制: ・下記、輸送に関する圈内法規制に該当するので、各法の規定に従った容器、積載方法により輸送する。
陸上: ・消防法 (第4類第四石油類) (液体) (危険等級Ⅲ)

容器: 危険物の規制に関する規則別表第3の2

金属製ドラム(250L)、金属製容器(60L)等

(注): 容器は危険物の規制に関する技術上の基準の細目を定める告示第68条の5に定める容器試験基準に適合していることを自主確認すること。

- ・ 容器表示: 1 危険物の品名、危険物、第4類第四石油類、危険等級Ⅲ、潤滑油
2 (数量)
3 火気厳禁

- ・ 労働安全衛生法通知対象物

海上: ・ 船舶安全法非危険物個別運送およびパラ積み運送に於いて。

航空: ・ 航空法非危険物

国連分類: ・ 国連の分類基準に該当せず。

国連番号: ・ 該当なし

追加の規制: ・ 現在のところ有用な情報なし。

輸送の特定の安全対策及び条件:

1. 火気注意(引火点700°C以上の液体)
2. 容器が著しく摩擦または動揺を起こさないように運搬する。
3. 指定数量以上の危険物を車両で運搬する場合は、自治省令で定めるところにより、当該車両に標識を備える。また、この場合、当該危険物に該当する消火設備を備える。運搬時の積み重ね高さは3m以下とする。
4. 第1類及び第6類の危険物及び高圧ガスを混載しない。
5. その他関係法令の定めるところに従う。

15. 適用法令

消防法: 危険物第4類第四石油類(非水溶性)

労働安全衛生法: 通知対象物

海洋汚染防止法: 油分排出規制(原則禁止)

下水道法: 鉱油類排出規制(5mg/L)

水質汚濁防止法: 油分排出規制(5mg/L許容濃度)

ノルマルヘキサン抽出分として検出される

廃棄物の処理及び清掃に関する法律: 産業廃棄物規則(拡散、流出の禁止)

16. その他情報

特記事項無し

本、安全データシートは、GROWTAC GT-01Lについて、安全な取扱いを確保するための参考情報として、提供されるものです。

これを参考として、自らの責任において、個々の取扱い等の実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようお願いします。

従って、本データシートそのものは、安全の保証書ではありません。